

令和5年9月

町長日誌

先月の「町長日誌」にも書きましたが、猛暑と豪雨は9月に入っても続いています。若干ではありますが、気温としては秋になりつつあるのかなと感じます。トンボやコオロギ、バッタなど秋の虫たちや、彼岸花なども見かけるようになりました。本町では稲刈りが始まり、もち米の刈り取りはすでに終わり、コシヒカリを中心としたうるち米の刈り取りが真最中を迎えています。農家のみなさんの話を聞くと、収量は減っているとのことで、直接的な原因は分かりませんが、猛暑が続き管理がうまくいかなかったのではと想像しています。そんな中でも、鳥取県西部農協の米買取価格（概算金）は、昨年から14.8%アップの6,500円となりました。直販をされている農家のみなさんにとっても、好影響があるものと思っています。

猛暑はトマトやピーマンなどの生産や販売単価にも影響をもたらしています。トマトは小ぶりとなったものの単価は上がっているようですし、ピーマンも高値が続いているようです。農家のみなさんからよく聞くのが、「野菜の単価は3年に一度高い時がくる」という言葉です。今年がその3年目なのかもしれませんが、これから年を追うごとに気温は高くなっていくでしょうから、その対策が必要になってくることは確実です。農家のみなさんにとってはもうひと手間の努力が必要となり、ご負担も増えるでしょうが、どうか頑張ってくださいと思います。

この地域の以前の気温がどれくらいだったのか調べてみますと、茶屋のアメダス地点の9月の気温は、1981年から2010年までの間の最高気温は24度、平均気温が18.7度、最低気温が14.2度となっていました。現在との違いを感じるとともに、40年という短期間での気温の急上昇に驚かされます。そして今後どこまで上昇するのか予想がつきません。

話は変わりますが、先日ある講演会に参加した際、受付でペットボトルのお茶をいただきました。このペットボトルにはラベルがなく、最初は手作りのものかな？と思いました。キャップにメーカーや商品名、問い合わせ番号が記載されていました。私はこのような商品を初めて目にしましたが、軟プラごみの削減につながるアイデアだと思いました。このことを若い職員に話すと、ラベルのないペットボトルのお茶はコンビニでも売っているとのこと。私の情報不足を露呈してしまいました。いずれにしてもこれは素晴らしい取り組みで、このような商品によるごみの減量化を期待しています。

令和5年9月21日 日南町長 中村英明